

理事専門委員長会議

期 日 平成31年1月31日(金)
時 間 13:00~16:00
場 所 栗田支援学校 小会議室

●磯崎理事長の挨拶

- ・特総体では、準備から理事・専門部の方々に頑張ってもらった。心のバリアフリー推進事業を含め、協力していただいて、お礼申し上げたい。来年度は会場の改修がある。各競技、要項等を見直し、各校長各校、分校にもお伝えしていただきたい。
- 秋田県教育長特別支援教育課 佐々木指導主事
- ・心のバリアフリー推進事業の御協力ありがとうございました。今後アンケートをまとめる。今年度の振り返りの会議ということで、総体の充実を祈念いたします。



●第18回総体へ向けて

<式典：開始式について>

- ・特体連事務局が担当。
- ・9時30分開始、選手宣誓・優勝カップの返還をメインにする。
- ・司会は生徒に依頼する。

<大会救護について>

- ・車椅子・担架・AED が未設置の会場では、本部と連絡をとって陸上競技場などから借りて使用する。
- ・救急マニュアルについては、各会場に置くことを検討する。

●各競技からの検討事項

<綱引き競技>

- ・体重が重いチームが勝率が高いことと、危険を伴う可能性があることから綱引きのルール変更の提案。

<体重計量について>

- ・総体申し込み時に体重計測をして、規定の重さ以下になるチームを編成する。大会当日までに多少の増減があっても許容する。



現行ルール

【小中の部】

編成：13名以内
対象：小学部 3名以上
 中学部 10名以内

来年度案

440kg以下
編成：8名
対象：小中学部

現行ルール

【高の部】

編成：10名以内
対象：男子7名以内
 女子3名以内

来年度案

600kg以下
編成：8名
対象：高等部

- ・今後、大会要項と申込書(案)を作成したものを特体連事務局で検討し、4月の専門部会議で提案する。

<ポッチャ競技>

- ・車椅子区分は、次年度、団体戦を行わず、個人戦に変更する。
- ・3エンドマッチから2エンドマッチに変更する。3エンドマッチだと、ジャックボールの投げ回数に不公平がでるため。

<フライングディスク>

- ・参加人数が増加したので、5サイトから6サイトに変更する。

【連絡】

- 1 第18回(2019年度)特体連ポスター等について
 - ・総会の際に配布。選ばれた生徒の学校の理事は学部・学年氏名の確認をする。
- 2 平成30年度特体連会計中間決算・総体決算
 - ・総体については、90万円をめどに支出していく方向を考えているが、95万円を超える状況が続いている。来年度も全体の予算が減額するので、精査する。専門委員には、補助員、各競技の用具類について再提示をお願いし、来年度に引き継ぐ。
- 3 2019年 第18回秋田県特別支援学校総合体育大会開催要項
 - ・例年使用している陸上競技場の改修工事のため、フライングディスク競技は球技場のB面を利用する。雄和体育館会場(ネオホッケー競技)の施設利用は申請済。
- 4 「ワン・ツーコイン募金」について
 - ・強化チーム選手への還元を活用している。各チームのユニホームも買い換えが必要であるため、来年度も各校の協力をお願いしたい。

